

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みにになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

# 日本皮膚科学会ガイドライン 尋常性白斑診療 ガイドライン第2版 2025

尋常性白斑診療ガイドライン策定委員会（委員長 大磯直毅 近畿大学奈良病院皮膚科）  
日本皮膚科学会誌: 135 (3), 485-525, 2025 (令和7年) 発行日 2025年3月20日

Minds 掲載 無

Grading Scale of Strength of Evidence:

- A: 結果はほぼ確実であり、今後研究が新しく行われても結果が大きく変化する可能性は少ない
- B: 結果を支持する研究があるが十分ではないため、今後研究が行われた場合に結果が大きく変化する可能性がある
- C: 結果を支持する質の高い研究がない

Grading Scale of Strength of Recommendation:

- 1: 強い推奨
- 2: 弱い推奨

## ■1 逍遙散、四物湯

疾患:

尋常性白斑

引用など:

- 1) 楊 伶俐: 東洋医学の白斑治療への応用, *BEAUTY*, 2022; 5: 72-76.
- 2) 二宮文乃: 尋常性白斑と漢方療法, *東洋医学*, 1988; 4: 8-15

## ■2 生姜、葛根など

疾患:

尋常性白斑

引用など:

Pang Y, Wu S, He Y, et al: Plant-derived compounds as promising therapeutics for vitiligo, *Front Pharmacol*, 2021; 12: 685116.

<以上 1~2 の記載として>

有効性に関する記載ないしその要約

『11. 治療法』の『11.16 ほかの補助療法（漢方、ビタミン剤など）』に、下記の記載がある。

『逍遙散や四物湯などいくつかの漢方薬が尋常性白斑に用いられてきた。生姜や葛根などさまざまなハーブ由来抽出物が尋常性白斑治療に対し有用な可能性が示唆されている。今後、二重盲検ランダム比較試験を用いてさらなる検討が望まれる』